

江戸時代に干拓した土地

宮沖新開 しんがい



タコ博士、第三中学校に石碑がありました。あれは何ですか？



宮沖の大南蛮樋門だいなんばんひもんと
いって、ヨーロッパ式の水門の一部じゃ。海水をせき止めるために使われていたんじゃ。



水をせき止める板をはめる柱の一部



何のために海水をせき止めたのですか？



海を陸地にするためじゃよ。第三中学校がある宮沖町は、もともと海だった



宮沖町は、干拓でできた土地なんですね。



現在の宮沖町、宮浦町、皆実町一带は、宮沖新開という干拓地なんじゃ。西宮神社と親しまれる三原八幡宮(西宮一丁目)の沖に位置することから名付けられたんじゃよ。



広い範囲を干拓したんですね。



この地図を見てごらん。沼田川や西野川河口は、ほとんど干拓地や埋立地なんじゃよ。埋め立ては、堤防や水門で囲った部分に土砂などを入れて陸地を作ることじゃ。



干拓地や埋立地が現在のまちの基になっているんですね。

